

社会とのつながり・地域貢献

森林の整備を通じたCSR活動の取り組み

近年の集中豪雨などの異常気象を背景に、温暖化防止等、地球環境問題への関心が高まってきています。SDGsに見られるように、持続可能な開発が企業としての成長の必須要件と見なされるようになってきています。

当社では、林野庁が取り組んでいる「協定締結による国民参加の森林づくり」に賛同し、仙台地区海岸防災林（北山国有林内）の再生に向けた活動に関して、東北森林管理局仙台森林管理署と協定書を締結しました。

活動内容は、東日本大震災により被災した海岸防災林に、「TOA育みの森」として、クロマツ（抵抗性）の苗木350本を植え付け、植栽した年から5年目まで年1～2回の下刈り、植栽木が枯れた場合の補植、植栽地周辺を含めたゴミ拾い・清掃等の森林保育を行います。



「協定締結による国民参加の森林づくり」については
林野庁のサイトをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/kokumin_sanka/kyouteiseido/kyoteiseido.html



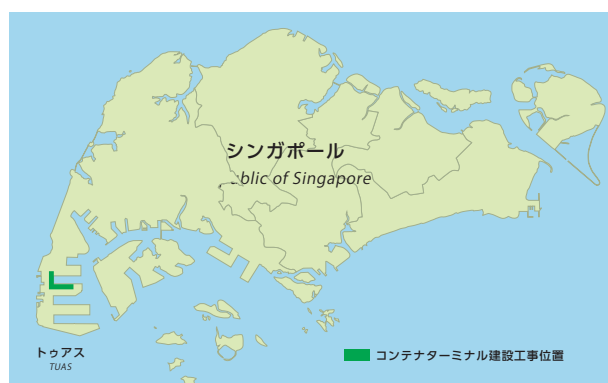
シンガポール国PSA トゥアスコンテナターミナル工事事務所にて 福岡県立福岡高等学校職場訪問を開催

シンガポール国PSAトゥアスコンテナターミナル工事事務所では福岡県立福岡高等学校2学年の生徒40名の職場訪問の受入れを実施しました。

職場訪問のプログラムの中では、実際に現地で働く当社職員より「海外で働くこと」をテーマとしたプレゼンテーションを実施し、日本における就労環境との違いに触れながら、言語や文化の異なる人たちと一緒に仕事をする、日本人職員・技術者としての役割、現地の生活事情等について、説明・経験談の紹介を行いました。また、当工事事務所が担う同国の次世代コンテナターミナルの建設工事の紹介・現場見学も実施しました。

参加した生徒からは積極的に多くの質問があり、海外で働くことについて考え、興味をもていただくことができました。また帰国後には生徒一人ひとりの感想文も届き「将来、海外で活躍したいと思うようになった」「海外で働くイメージが湧いた」などの言葉が寄せられました。

今回の活動が、参加した生徒の皆さんにとって、将来、国際的な視野を広げるひとつのきっかけとなることを期待しています。



「トゥアス港第1期 コンテナパース建設工事」については
下記コーポレートサイトをご覧ください。
<https://www.toa-const.co.jp/company/release/2019/190410.html>

